

プログラム	NEXT産業創造	必修・選択	選択	単位	—	学期	夏期
科目群	基礎科目	科目名	地域マネジメント&ファイナンス特論	教員	板倉宏昭/石丸亜矢子		
		(英文表記)	Regional Management & Finance	名	三好祐輔/亀井省吾		

概要	<p>(第1回から第4回：地域マネジメント)</p> <p>地域ビジネスを創出しそのスケールを目指すうえで、必要な考え方を解説し、基本的理解に重点を置く。経営に関する基本概念のうち、地域を巡る基本的な考え方を中心にまとめる。事例を取り入れながら客観的に解説し、現実の地域ビジネスにおいて経営学が果たす機能を具体的に理解する。</p> <p>(第5回から第8回：ファイナンス)</p> <p>本講義の目標は、経営者の立場に必要なファイナンスの基礎を修得することである。企業が起業から事業成長する過程で、どのような資金調達手段があり、資金提供を受けるにはどのような要件を満たす必要があるかを学ぶ。本講義を通して、資金制約の中で企業価値最大化の目標を達成するために必要な方法を学ぶと共に、外部からの資金調達に関わる基本的な仕組みについて理解を深める。</p>		
目的・狙い	<p>(地域マネジメント)</p> <p>本授業では、経営学に関する基本的な概念を理解し、経営や地域ビジネスに関する関心を深める。経営学と地域ビジネスに関わる基本的な考え方を検討することで、これらの理論が、実務においてどのように有効か、実務に照らして検証する。</p> <p>(ファイナンス)</p> <p>企業価値経営とは、企業が経済的付加価値を生み資金提供者をはじめとする企業の利害関係者の満足度を高めることである。どのような経営戦略が企業価値を高めることになるかを考察する。受講者は、資本市場において企業価値がどのように決まるかの基礎について理解を深めるとともに、企業評価の手法等コーポレート・ファイナンスの基礎的素養を習得することを目的とする。</p>		
前提知識 (履修条件)	<ul style="list-style-type: none"> 企業価値、資本コストの計算など実施に際して使用するエクセル表計算ができる（PC用意）。 		
到達目標	<p>上位到達目標</p> <p>(地域マネジメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営戦略や地域ビジネスに関して説明できる。 経営戦略と地域ビジネスが果たす機能を具体的に理解する。 事例について、経営戦略の基本的な考え方を使って、企業戦略や事業戦略の策定や地域ビジネスの策定や実証分析を行うことができる。 <p>(ファイナンス)</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業価値経営をファイナンスの観点から説明できる。 企業価値経営に対するファイナンスが果たす役割を具体的に理解する。 		
	<p>最低到達目標</p> <p>(地域マネジメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営戦略や地域ビジネスへの関心を深める。 経営戦略と地域ビジネスに関する基本的な概念を理解し、説明できる。 地域ビジネスについて分析方法を理解する。 <p>(ファイナンス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイナンスへの関心を深める。 企業価値経営とファイナンスに関する基本的な概念を理解し、説明できる。 		
授業の形態	形態	実施	特徴・留意点
	遠隔授業	○	遠隔(Zoom)授業
	授業	○	教科書(地域マネジメント)にそって進める。解説、問題演習、ケース討議の順番で進める。
	形式	○	
	式	○	
	サテライト開講授業		
その他			
授業外の学習	<p>(地域マネジメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 予習:教科書の理論編を読む。必要な場合は参考書も読み、問題集とケースを事前に解くことが望ましい。 復習:教科書を読み返してケース編で取り扱わなかったケースを確認するとともに、自分自身の事業プランの地域バリューチェーンを検討し、3Sフレームワークにあてはめてみる。 <p>(ファイナンス)</p> <ul style="list-style-type: none"> 予習:レジュメ(パワーポイント)を配布する。 復習:学んだ部分を中心に、自らが選定した企業について講義で扱った内容を反復する。 		

授業の内容	<p>(地域マネジメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業経営・事業展開で必要とされる経営戦略の基本的理論構成とその体系、経営戦略構築、組織戦略を学ぶ。 ・ 地域ビジネスの構築・実行・評価のための枠組み・手法を修得する。 ・ 教科書を用いた解説、ケース討議の順番を進める。 ・ ケース討議の内容は、講義内で指示する。 <p>(ファイナンス)</p> <p>企業の経営戦略や投資戦略において、リスクに見合ったリターンを獲得するためには、ファイナンスの知識の修得は不可欠である。この領域に関する知識がなければ、過度にリスク回避的になるか、あるいはリスクを負担し過ぎる行動に陥ることになる。本講義では、新規開業企業・ベンチャーやアントレプレナーシップ（企業家活動）が有するファイナンスに関する現代的意義と課題について考察する。そしてワークショップを通じて、具体的な事例を考察する能力や洞察を得るスキルを修得する。ワークショップでは、チームごとに分かれ、講義で学んだファイナンス的アプローチを活用しプレゼンテーションを実施する。</p>	
授業の計画	回数	内容
	第 1 回	<p>経営の基本視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営学の意義（経営学の定義、企業活動と経営学・経営戦略） 米国の経営学・経営戦略論の流れ、経営学の性質、経営学上の人間観（限定された合理性）、企業の目標（利潤最大化説、複数目的説、ステークホルダー志向）、コストリーダーシップ戦略、差別化戦略、集中化戦略の3つの経営の基本戦略、競争優位性、市場と組織の競争優位の源泉、理念・ビジョン、経営戦略の構造、戦略の策定。 <p>分析の手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営学のデザイン志向、経営学のデザイン志向、ビジネスモデルデザイン。 ・ 3つの基本戦略（コストリーダーシップ戦略、差別化戦略、集中化戦略）。
	第 2 回	<p>地域と経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化の要因は何か。地域コミットメント、地域価値連鎖（バリューチェーン）、外部力（ヨソモノ）と内部力（ジモティ）の新結合、3S(サイト・スペシフィック・ストーリーテリング)、超産業化などについて学ぶ。
	第 3 回	<p>地域ビジネスのケース討議1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の事例紹介と、3Sフレームワーク活用法の解説 ・ グループワーク
	第 4 回	<p>地域ビジネスのケース討議2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループワーク ・ 発表
	第 5 回	<p>アカウンティングの基礎1（戦略は財務諸表に現れる：Case Study）</p> <p>Key word：ジェネリック戦略、売上総利益率、販売管理比率、営業利益率</p>
	第 6 回	<p>アカウンティングの基礎2（PL&BSからのキャッシュフロー導出：演習）</p> <p>Key word：損益分岐点、フリーキャッシュフロー、ROA&ROE</p>
	第 7 回	<p>ファイナンスの基礎 1（時間価値と事業評価）</p> <p>Key word: Time Value、割引率、IRR（内部収益率）、NPV（正味現在価値）</p>
	第 8 回	<p>ファイナンスの基礎 2（割引率導出と企業価値評価、資本政策：演習）</p> <p>Key word: CAPM（資本資産評価モデル）、DCF(Discounted Cash Flow)</p>
教科書・教材	板倉宏昭『新訂 経営学講義』勁草書房 2017年	
参考図書	板倉宏昭他『地域バリューチェーン—持続可能な地域を創る—』勁草書房2021年 三好祐輔,「地域活性化のための処方箋」(九州大学出版会) 総302頁(単著),2019年	
成績評価	グループレポート・発表 100%	